

第8回公開研究会

正統と異端

『丸山眞男集 別集』 第四巻

合評会

森本 あんり 氏

(キリスト教神学・宗教学)

討論

馬場 紀寿 氏

(仏教学)

中田 喜万 氏

(日本政治思想史)

とき： 2019年7月6日 (土) 14:00~17:00

ところ： 東京女子大学 24号館 24202教室

入場無料・申込不要

東京女子大学丸山眞男記念比較思想センター

〒167-8585 東京都杉並区善福寺2-6-1

TEL: 03-5382-6817 FAX: 03-5382-6120

MAIL: marubun@lab.twcu.ac.jp

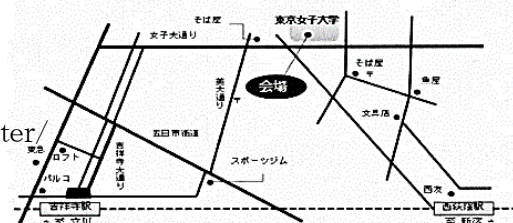
HP: <http://office.twcu.ac.jp/univ/research/institute/maruyama-center/>

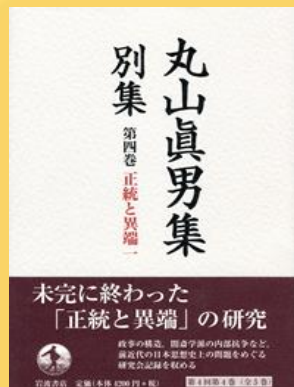
*事務取扱時間：月・水・金曜日 (10:30~16:30)

○アクセス

●JR西荻窪駅北口より徒歩約12分

●西荻窪駅北口または吉祥寺駅行きバス吉祥寺駅北口より西荻窪駅行バス「東京女子大前」下車





1950年代後半、『近代日本思想史講座』（筑摩書房）の第2巻『正統と異端』の編集を引き受けた丸山眞男は、その後、中断をはさみながらも40年あまりにわたって、同書編集のための研究会を石田雄らと行います。しかし、丸山が莫大な時間とエネルギーを注ぎ込んだにもかかわらず、同書は未刊行に終わり、「正統と異端」というテーマをめぐって展開された丸山の思索は、論文などにあらわれたそのごく一部分が知られるにすぎませんでした。

東京女子大学丸山眞男文庫では、丸山が遺した未刊行の原稿やメモ、音声記録から、「正統と異端」研究会で行われていた議論の復元を試み、その前半部分を『丸山眞男集 別集 第4巻 正統と異端一』（岩波書店、2018年）として刊行しました。今回、キリスト教史、仏教史、儒学史のそれぞれの立場から本書についての検討を行う合評会を開催いたします。

登壇者

森本あんり（もりもと・あんり）

1956年生まれ。国際基督教大学学務副学長・同教授。著書に『反知性主義——アメリカが生んだ「熱病」の正体』（新潮選書、2015年）、『異端の時代——正統のかたちを求めて』（岩波新書、2018年）など。

馬場紀寿（ばば・のりひさ）

1973年生まれ。東京大学東洋文化研究所教授。著書に『上座部仏教の思想形成』（春秋社、2008年）、『初期仏教——ブッダの思想をたどる』（岩波新書、2018年）など。

中田喜万（なかだ・よしかず）

1972年生まれ。学習院大学教授。著書に「武士と学問と官僚制」（薊部直ほか編『日本思想史講座3 近世』ぺりかん社、2012年）、「近代武士道がうまれるとき」（『日本近代における〈国家意識〉形成の諸問題とアジア：政治思想と大衆文化』勁草書房、2019年）など。

丸山文庫

丸山眞男の思索の跡を伝える約2万冊の蔵書と約3万頁の草稿類が1998年に東京女子大学に寄贈されました。東京女子大学は、国際的な丸山眞男研究の拠点となり、貴重な資料がひろく活用されることを願って丸山眞男文庫を設立し、調査と整理を進めるとともに講演会、公開研究会、公開授業等を開催しています。2012年4月より2017年3月まで、研究プロジェクト「20世紀日本における知識人と教養—丸山眞男文庫デジタルアーカイブの構築と活用—」（「丸山眞男研究プロジェクト」）を実施、2015年からは丸山眞男文庫バーチャル書庫（<http://maruyamabunko.twcu.ac.jp/shoko>）丸山眞男文庫草稿類デジタルアーカイブ（<http://maruyamabunko.twcu.ac.jp/archives>）を公開しています。